



一般社団法人  
社会基盤情報流通推進協議会事務局

# 一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会 第十一期(令和5年度) 事業報告(説明書)

参考資料1

# 事業報告:理事会・総会の開催報告

- 総会1回、理事会4回実施(事業計画、事業報告の承認、理事の行動計画確認など)
- 事業期間
  - ・ 令和5年10月1日～令和6年9月30日
- 理事会・総会の開催内容

年	月日	会議区分	主な議題
令和5年	11月21日	理事会	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 第十期(令和4年度)事業報告・決算報告</li><li>・ 定時社員総会の開催について</li><li>・ 定款の改訂について</li></ul>
	12月5日	第九回定時社員総会	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 第十期(令和4年度)決算</li><li>・ 理事任期満了に伴う改選について</li><li>・ 定款の改訂について</li><li>・ 会員規程改訂について</li><li>・ (報告)第十一期(令和5年度)事業計画及び予算計画</li></ul>
	12月5日	理事会	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 代表理事選定に関する件</li><li>・ 事務局長の選任に関する件</li><li>・ 理事職務権限規程改訂の件</li><li>・ 各種方針・規程改訂、廃止の件</li></ul>
令和6年	5月28日	理事会	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 謝金規程の改定について</li><li>・ 東大寄付研究部門の参画について</li><li>・ (報告)理事行動計画について</li></ul>
	9月3日	理事会	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 第十二期(令和6年度)事業計画・予算計画</li></ul>

# 会員区分

会員区分	年会費	総会議決権
幹事会員	600,000	○
一般会員【法人】	50,000	なし
一般会員【個人】	10,000	なし
賛助会員	無料	なし



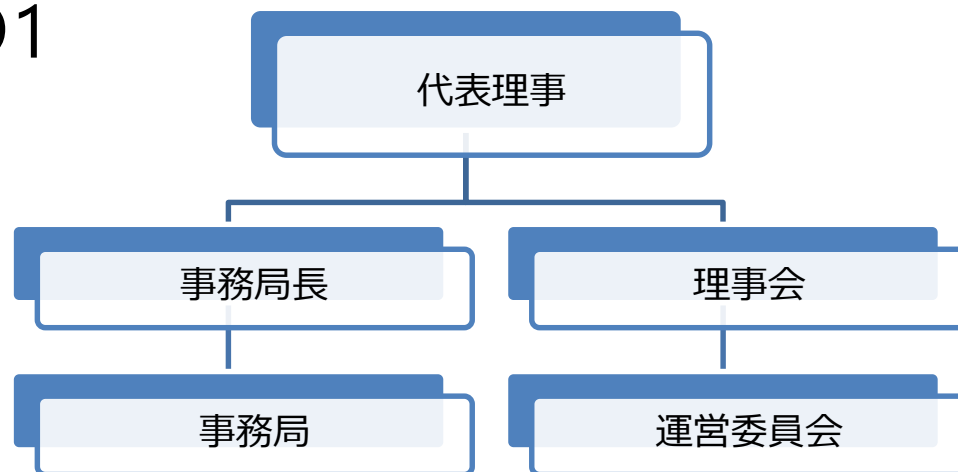
本協議会の趣旨に賛同し、社会基盤情報の流通環境の整備に協力をいただくとともに、本協議会の運営にも積極的に関与いただける法人。

本協議会の趣旨に賛同し、社会基盤情報の流通環境の整備に協力をいただける法人/個人。

本協議会の趣旨に賛同し、社会基盤情報の流通環境の整備に関し、ご助言、ご協力をいただける、国機関、地方公共団体、大学等教育・研究機関、またはそれらに所属する有識者。

※会員別の解説文は、定款より抜粋

# 運営体制 その1



役職	氏名
代表理事	関本 義秀
理事	朝日 孝輔
理事	井上 陽介
理事	岩崎 秀司
理事	大伴 真吾
理事	神波 修一郎
理事	栗山 雄三
理事	黒川 史子
理事	柴野 将広
理事	瀬戸 寿一
理事	藤津 克彦
監事	石井 邦宙

事務局	氏名 (所属)
事務局長	山本 尉太 (アジア航測)
入会担当	神波 修一郎 (長大)
理事会・総会担当	今井 佳世子 (国際航業)

# 活動報告:社員数(令和6年9月30日時点)

## ● アサミ情報システム株式会社様の入会

総社員数
16

## ● 社員一覧

社員名	入会日	備考	社員名	入会日	備考
株式会社 建設技術研究所	H26/4/1	幹事会員	日本工営 株式会社	H26/9/25	幹事会員
株式会社 パスコ	H26/4/1	幹事会員	NTTインフラネット 株式会社	R2/4/1	幹事会員
アジア航測 株式会社	H26/4/1	幹事会員	パシフィックコンサルタンツ 株式会社	R3/5/10	幹事会員
株式会社 ゼンリン	H26/4/1	幹事会員	株式会社 MIERUNE	R4/1/25	幹事会員
国際航業 株式会社	H26/4/1	幹事会員	日本工営都市空間 株式会社	R4/8/2	幹事会員
朝日航洋 株式会社	H26/4/1	幹事会員	株式会社 アーバンエックステク ノロジーズ	R5/4/4	幹事会員
株式会社 長大	H26/4/1	幹事会員	PwCコンサルティング 合同会社	R5/6/23	幹事会員
ESRIジャパン 株式会社	H26/6/12	幹事会員	アサミ情報システム 株式会社	R5/12/18	幹事会員

# G空間情報センターの今後の方針とミッション

## 【基本的な方針】

公共性のある産学官連携した地理空間情報プラットフォームとして継続的に運営する

- 政府系データは網羅しつつあるが、今後も産学官と連携し、取り扱うデータや連携するプラットフォーム、関係機関などを拡充し、公共性のある活動を継続的に行う。

新規性のあるデータ、各種データの基盤となるベース・レジストリの提供を充実

- 3次元、人流データのほか、新規性のあるデータを積極的に公開
- 地名などのデジタル庁等が設定するベースレジストリをG空間情報センターからも一元的に提供

データ保有者や他PFとの連携によるデジタルツインの実現支援

- データ保有者から提供されたデータを加工し、API提供するなど他者との連携を強化
- 個別のデータ提供に留まらず、各地域ごとにデータを統合的に束ね、ユーザーにとって使いやすい状態にするホットスタンバイ状態の都市のデジタルツイン環境を提供

## 【5つのミッション】

G空間情報センター中期運営計画2022より抜粋

### ①G空間情報の流通・活用の継続的支援

- G空間情報センターを継続的な運営を行い、G空間情報の流通および活用を支援する。

### ②社会的な情報連携基盤として他分野PF・DBや組織との連携充実

- これまで繋がりが薄い分野や新たに創出されるPFの連携を図る。

### ③G空間情報センターのリソースを活用した付加価値の創造

- データ提供するシステムや運用仕組みなどのこれまでの知見やリソースを活かしたサービス提供を行う。

### ④G空間情報の普及展開活用の支援

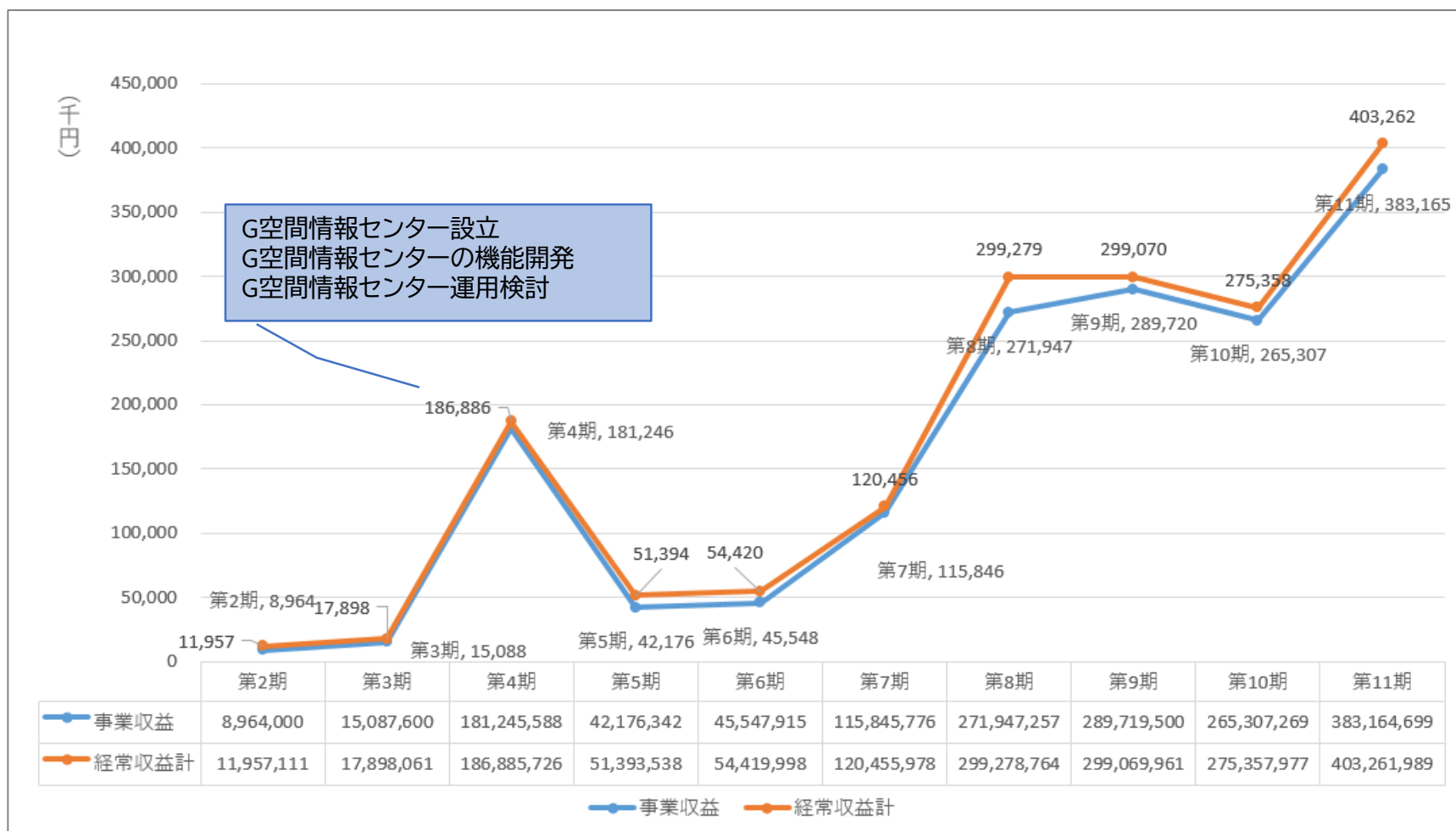
- 講習会、セミナーのほか広報活動等やデータを利用・学ぶ機会を創出する人材育成支援を行う。

### ⑤G空間情報の研究開発

- G空間情報の整備・流通に係る技術的な研究開発の実施する。

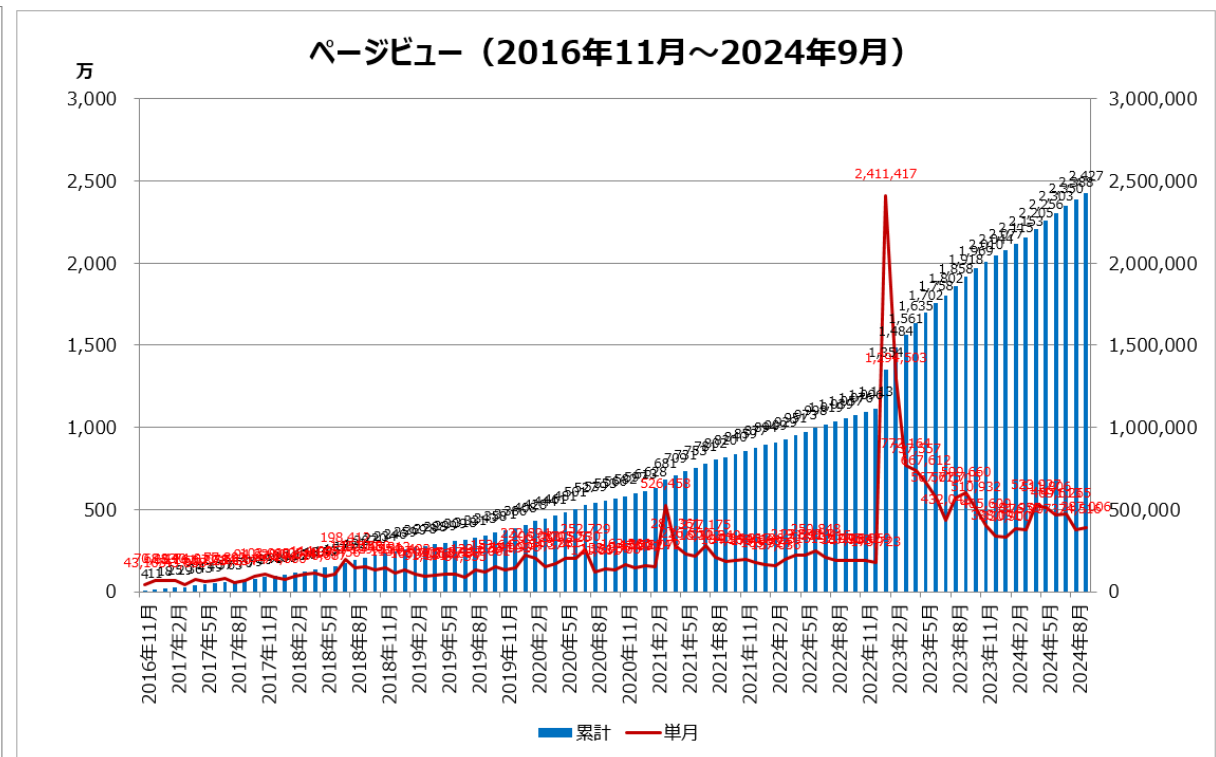
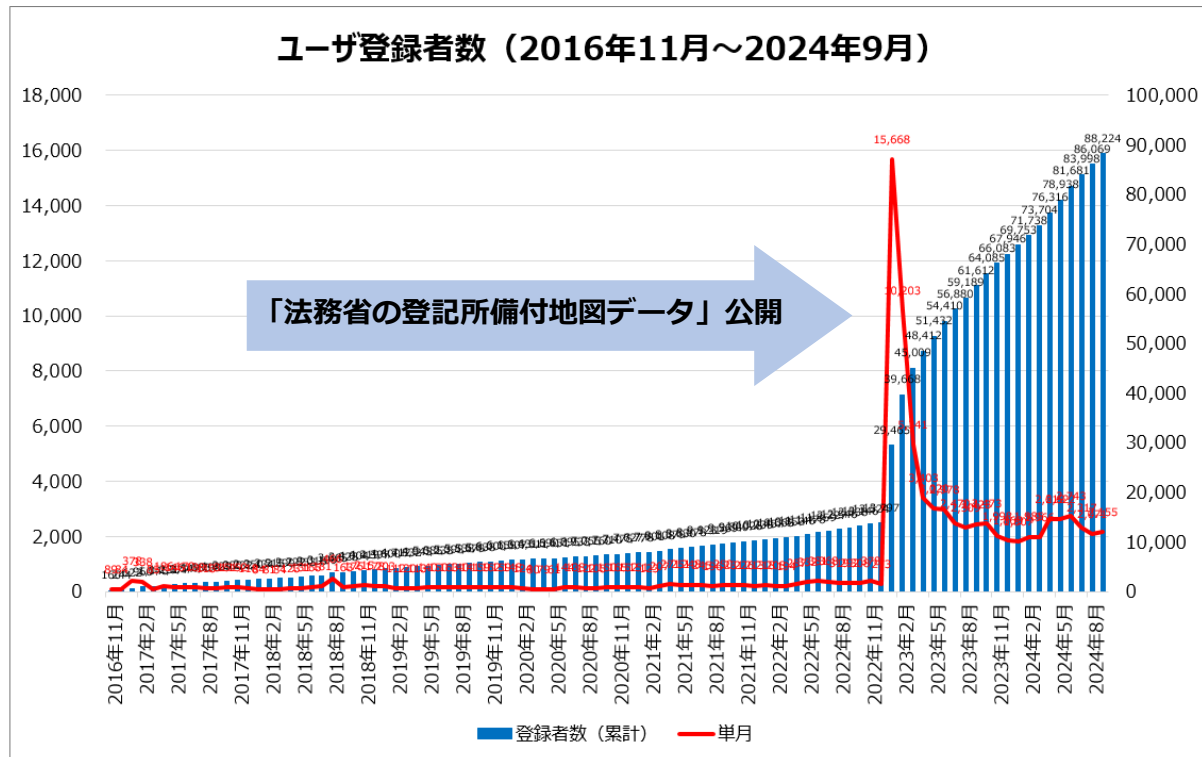
# 事業収益の推移

- 受託事業を主たる収入とした運用(その他の収入:会費、データ有償販売、有償セミナー)
- 事業収益、経常収益ともに過去最高を記録



# G空間事業(1) G空間情報センターの運営

- 「法務省の登記所備付地図データ」公開によってユーザーが急増
- その後も順調にユーザー数はゆるやかに増加





# G空間事業(1) G空間情報センターの運営

- アクセス数の多いデータセット(2023年10月~12月)
  - 全体的に人流データ、3D都市モデル(東京都23区)、VIRTUALSHIZUOKAへのアクセスが多い

月	データセット (上段:組織、下段:データセット)	アクセス数
10月	国土交通省政策統括官 全国の人流オープンデータ (1kmメッシュ、市区町村単位発地別)	4,822
	静岡県 VIRTUALSHIZUOKA静岡県中・西部点群データ	4,391
	国土交通省都市局 3D都市モデル (ProjectPLATEAU) 東京都23区 (2022年度)	4,357
	国土交通省都市局 3D都市モデル (ProjectPLATEAU) 東京都23区	2,546
	静岡県 VIRTUALSHIZUOKA静岡県中・西部点群データ	1,493
11月	国土交通省政策統括官 全国の人流オープンデータ (1kmメッシュ、市区町村単位発地別)	4,737
	国土交通省都市局 3D都市モデル (ProjectPLATEAU) 東京都23区 (2022年度)	4,276
	静岡県 VIRTUALSHIZUOKA静岡県中・西部点群データ	3,393
	内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」及び「首都直下地震モデル検討会」の両検討会 (3) 工学的基盤 (Vs=700m/s相当層) における長周期地震動波形 11_埼玉県	2,644
	内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」及び「首都直下地震モデル検討会」の両検討会 (3) 工学的基盤 (Vs=700m/s相当層) における長周期地震動波形 12_千葉県	2,528
12月	国土交通省政策統括官 全国の人流オープンデータ (1kmメッシュ、市区町村単位発地別)	4,423
	国土交通省都市局 3D都市モデル (ProjectPLATEAU) 東京都23区 (2022年度)	3,168
	静岡県 VIRTUALSHIZUOKA静岡県中・西部点群データ	3,025
	内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」及び「首都直下地震モデル検討会」の両検討会 (3) 工学的基盤 (Vs=700m/s相当層) における長周期地震動波形 27_大阪府	2,271
	国土交通省都市局 3D都市モデル (ProjectPLATEAU) 東京都23区	1,951

# G空間事業(1) G空間情報センターの運営

- アクセス数の多いデータセット(2024年1月~3月)
  - 2月は令和6年能登半島地震 3次元点群データが多くアクセスされている

月	データセット (上段: 組織、下段: データセット)	アクセス数
1月	国土交通省政策統括官 全国の人流オープンデータ (1kmメッシュ、市区町村単位発地別)	4,423
	国土交通省都市局 3D都市モデル (ProjectPLATEAU) 東京都23区 (2022年度)	3,168
	静岡県 VIRTUALSHIZUOKA静岡県中・西部点群データ	3,025
	内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」及び「首都直下地震モデル検討会」の両検討会 (3) 工学的基盤 (Vs=700m/s相当層) における長周期地震動波形 27 大阪府	2,271
	国土交通省都市局 3D都市モデル (ProjectPLATEAU) 東京都23区	1,951
2月	一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会 令和6年能登半島地震能登西部3次元点群データ (発災前)	3,668
	一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会 令和6年能登半島地震能登東部3次元点群データ (発災前)	3,394
	国土交通省都市局 3D都市モデル (ProjectPLATEAU) 東京都23区 (2022年度)	3,094
	国土交通省政策統括官 全国の人流オープンデータ (1kmメッシュ、市区町村単位発地別)	3,065
	静岡県 VIRTUALSHIZUOKA静岡県中・西部点群データ	2,674
3月	国土交通省都市局 3D都市モデル (ProjectPLATEAU) 東京都23区 (2022年度)	2,771
	静岡県 VIRTUALSHIZUOKA静岡県中・西部点群データ	2,608
	国土交通省政策統括官 全国の人流オープンデータ (1kmメッシュ、市区町村単位発地別)	2,042
	国土交通省都市局 3D都市モデル (ProjectPLATEAU) 東京都23区	1,681
	環境省生物多様性センター メッシュ	969

# G空間事業(1) G空間情報センターの運営

- アクセス数の多いデータセット(2024年4月~6月)
  - 6月には将来人口・世帯予測ツールV3(R2国調対応版)が多くアクセスされている

月	データセット (上段:組織、下段:データセット)	アクセス数
4月	静岡県 VIRTUALSHIZUOKA静岡県中・西部点群データ	5,067
	国土交通省政策統括官 全国の人流オープンデータ (1kmメッシュ、市区町村単位発地別)	2,702
	静岡県 VIRTUALSHIZUOKA静岡県富士山南東部・伊豆東部点群データ	1,658
	国土交通省都市局 3D都市モデル (ProjectPLATEAU) 東京都23区	1,601
	沖縄県 47_沖縄県_液状化危険度分布図	1,392
5月	静岡県 VIRTUALSHIZUOKA静岡県中・西部点群データ	3,455
	国土交通省政策統括官 全国の人流オープンデータ (1kmメッシュ、市区町村単位発地別)	2,741
	国土交通省都市局 3D都市モデル (ProjectPLATEAU) 東京都23区	1,467
	静岡県 VIRTUALSHIZUOKA静岡県富士山南東部・伊豆東部点群データ	1,279
	北海道総合政策部 【北海道】白地図 (簡易版CC0)	1,046
6月	国土交通省国土技術政策総合研究所 将来人口・世帯予測ツールV3 (R2国調対応版)	6,835
	静岡県 VIRTUALSHIZUOKA静岡県中・西部点群データ	3,294
	国土交通省政策統括官 全国の人流オープンデータ (1kmメッシュ、市区町村単位発地別)	2,708
	国土交通省都市局 3D都市モデル (ProjectPLATEAU) 東京都23区	1,520
	静岡県 VIRTUALSHIZUOKA静岡県富士山南東部・伊豆東部点群データ	1,181

# G空間事業(1) G空間情報センターの運営

- アクセス数の多いデータセット(2024年7月~9月)
  - 全体傾向は他期間と同様、9月にはさいたま市Minecraftワールドデータがランクインしている

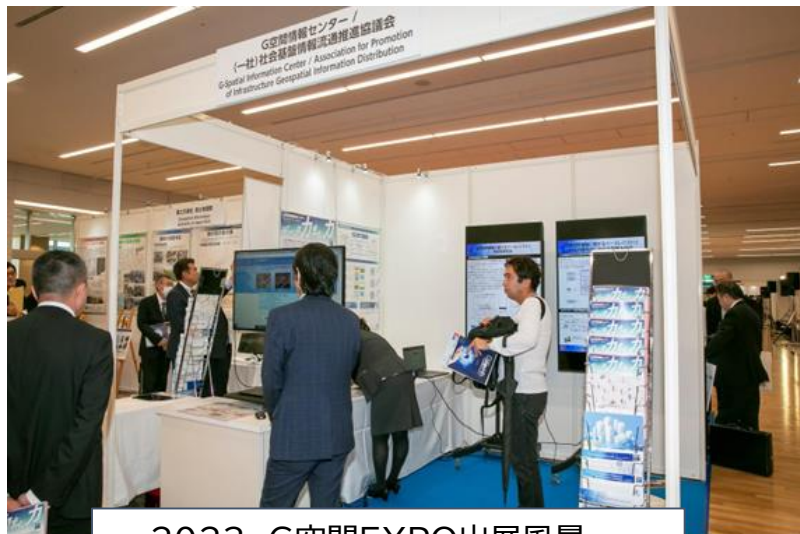
月	データセット (上段: 組織、下段: データセット)	アクセス数
7月	静岡県 VIRTUALSHIZUOKA静岡県中・西部点群データ	3,066
	国土交通省国土技術政策総合研究所 将来人口・世帯予測ツールV3 (R2国調対応版)	2,910
	国土交通省政策統括官 全国の人流オープンデータ (1kmメッシュ、市区町村単位発地別)	2,730
	都市局 3D都市モデル (ProjectPLATEAU) 東京都23区	1,532
	静岡県 VIRTUALSHIZUOKA静岡県富士山南東部・伊豆東部点群データ	1,321
8月	静岡県 VIRTUALSHIZUOKA静岡県中・西部点群データ	3,200
	国土交通省政策統括官 全国の人流オープンデータ (1kmメッシュ、市区町村単位発地別)	2,200
	国土交通省国土技術政策総合研究所 将来人口・世帯予測ツールV3 (R2国調対応版)	1,665
	北海道総合政策部 【北海道】白地図 (簡易版CC0)	1,093
	都市局 3D都市モデル (ProjectPLATEAU) 東京都23区	1,055
9月	静岡県 VIRTUALSHIZUOKA静岡県中・西部点群データ	3,211
	埼玉県さいたま市 さいたま市Minecraftワールドデータ	2,576
	国土交通省政策統括官 全国の人流オープンデータ (1kmメッシュ、市区町村単位発地別)	2,250
	国土交通省国土技術政策総合研究所 将来人口・世帯予測ツールV3 (R2国調対応版)	1,518
	都市局 3D都市モデル (ProjectPLATEAU) 東京都23区	1,177

# G空間事業 (1)G空間情報センターの運営

- G空間EXPO2023へ出展
- G空間情報センター シンポジウムを開催

## G空間Expo2023

- 出展日:令和5年11月7日(火)~8日(水)
- 開催場所:東京都立産業貿易センター浜松町館 4階展示室
- 出展内容:
  - ・ G空間情報センターHPデモンストレーション



2023 G空間EXPO出展風景

## G空間情報センターシンポジウム

～デジタル化時代の基盤 G空間情報の整備と活用に向けて～

日時: 令和5年 11月 9日(木)13:00~15:00

主催: AIGID



2023 G空間センターシンポジウム

# G空間事業 (2)社会基盤情報の流通・利用促進のための活動 ー まちづくり・都市計画(My City Forecast) ー

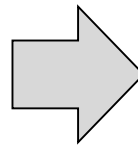
## ● 主な成果

1. 世帯推計データ(2015)データの精度向上
  - 全国の2020年の国勢調査とZmapデータを使用した世帯推計データ(2020)の作成及び精度向上
2. 世帯推移モデル(2020-2040)データの精度向上
  - 全国の世帯推計データ(2020)を使用した現アルゴリズムでの世帯推移モデル(2025-2045)の令和6年度中における作成

<https://mycityforecast.net/>



世帯が割り当てられてない集合住宅（右下）の建物の状況（●は世帯割当有り）



改善後：建物への世帯割り当て  
（千葉県柏市松葉町5丁目周辺）

# G空間事業 (2)社会基盤情報の流通・利用促進のための活動 ー インフラ管理(My City Report) ー

## ● 主な成果

1. 千葉県鎌ヶ谷市と熊本県が新規加入
  - 36自治体(1都3県6区25市1村)となった
2. 知名度の向上
  - NHKや朝日新聞デジタルに取り上げられたことにより、知名度が向上

### 市民がアプリで報告する取り組みも

倒木など、街の危険をいち早く把握しようと、千葉市ではアプリを使って市民に写真で報告してもらう取り組みが行われています。

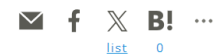


<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240922/k10014589431000.html>

朝日新聞デジタル > 記事

### 「まちの不具合」アプリで教えて 東京都が導入、利用者増へPR

中山直樹 2024年9月12日 10時45分



投稿を呼びかけているアプリの操作画面。住民の投稿はマップに表示される=東京都提供

道路や公園といった公共施設で損傷を見つけたらスマートフォンで撮って投稿を——。東京都がそんなアプリの利用を住民に呼びかけている。職員が定期点検で探していた「まちの不具合」を住民に報告してもらい、迅速な発見と補修につなげたい考えだが、利用者が伸び悩んでおりアピールに力を入れている。

アプリ名は「My City Report(MCR)」。2018年に都が民間からの事業提案を求めたところ、東京大学の研究室から企画が持ち込ま

[https://www.asahi.com/articles/ASS9C4CN0S9COXIE011M.html?iref=pc\\_preftop\\_tokyo](https://www.asahi.com/articles/ASS9C4CN0S9COXIE011M.html?iref=pc_preftop_tokyo)

# G空間事業 (2)社会基盤情報の流通・利用促進のための活動

## ー 建設分野のオンライン電子納品推進(My City Construction) ー

### ●主な成果

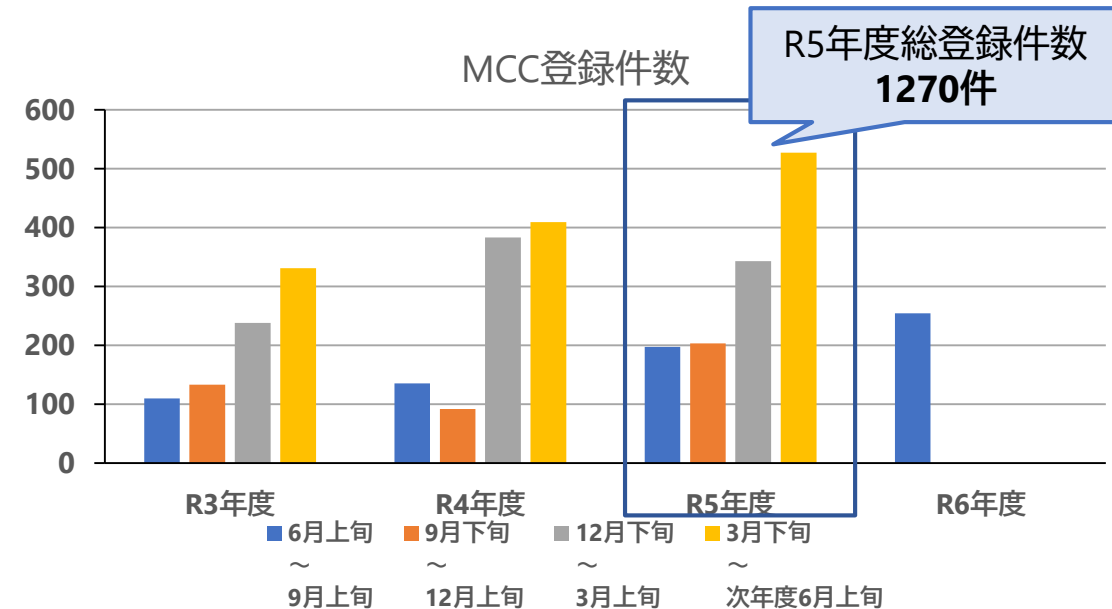
1. オンライン電子納品実施数約4,200件達成 (令和6年10月10日時点)
2. 実施受注法人数500法人達成 (令和6年10月10日時点)
3. 自治体へのフォロー
  - 過去データ一括登録キャンペーンの実施
  - 熊本県、山形県、静岡市での本格運用に向けて調整中
  - 関心度の高い自治体へのフォロー
4. 研究会の実施
  - 新機能実装/検討結果の報告
  - 自治体との意見交換による課題共有
  - 要望に合わせた機能改修
5. 施設DB連携やLGWAN接続に向けた準備

※10月10日時点

オンライン電子納品実施数 *1	実施受注法人数 *2	実施自治体数 *2
4206件	510法人	19自治体

\*1 試行で事務局が代行登録したものは含めていません。

\*2 試行を含め、実際に1件以上登録があった団体をカウントしています(予定は含んでいません)。





# G空間事業 (2)社会基盤情報の流通・利用促進のための活動

## — 三次元デジタルツイン環境の開発(デジタルシティサービス) —

### ● 主な成果

1. デジタルシティサービスの改良
  - 全国市区町村対応
  - PLATEAUデータ、擬似人流データ、登記所備付地図等の搭載 等
2. 協議会の運営
  - デジタルシティサービスを利用したまちの課題解決に向けたデジタル南砺協議会、デジタル裾野協議会の運営支援
3. 建設技術助成制度の採択
  - 国土交通省建設技術助成制度に採択され、継続的な開発を実施

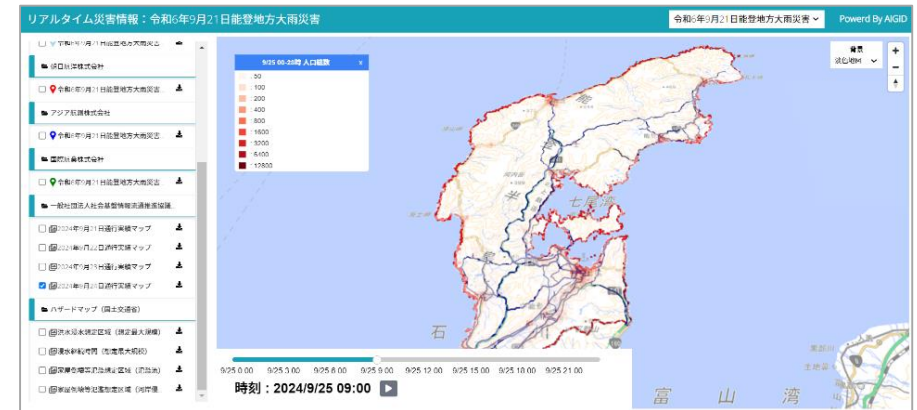


# G空間事業 (2)社会基盤情報の流通・利用促進のための活動

## — 研究会:民間事業者によるリアルタイム災害情報提供研究会 —

### ● 主な成果

1. SIP3サブ課題A「産官学連携による評価・検討用プラットフォーム構築の研究開発」と連携し活動
  - 年4回の研究会開催
2. 大規模災害時における最短24時間以内の各種民間データ公開の社会実験に関する[プレスリリース](#)(7月12日)
3. 災害モード対応(被災地のリアルタイムデータ収集、地図情報発信)
  - 令和6年能登半島地震(1月1日～1月28日)
    - 通行実績データ、斜め写真、住家被害、ハザード情報提供
    - 発災前の3次元点群データ公開(静岡県、東京都と連携し石川県のデータを代理公開)
  - 令和6年7月25日大雨災害(7月25日～8月1日)
    - 人口統計データ、通行実績データ、斜め写真、ハザード情報提供
  - 令和6年9月21日能登地方大雨災害(9月22日～9月28日)
    - 人口統計データ、通行実績データ、斜め写真、ハザード情報提供



令和6年9月21日能登地方大雨災害  
人口統計、通行実績、斜め写真の表示例

# G空間事業 (2)社会基盤情報の流通・利用促進のための活動

## － 研究会:ベースレジストリ研究会 －

### ● 主な成果

1. 各分野におけるベースレジストリ・標準化状況の整理
2. 不動産ID-PLATEAU連携のためのOSSの作成
3. 道路関連施設IDへのマッチングのシステムへの組込実装における検討の進展
4. OSMから骨格道路データを作成し履歴を保持し更新を行うフローの開発
5. 河川分野のベースレジストリとして利用可能なデータの整理
6. 幅広い分野の有識者より話題提供のもとベースレジストリに関連する取り組みや課題に関する議論の実施

- 東京大学・AIGIDでの研究開発の進捗の情報共有を実施

- 不動産 ID-PLATEAU 連携事業、オンライン電子納品における道路関連施設 IDへのマッチング、オープンデータを用いた道路 ID 等のベースレジストリの研究開発、河川分野のベースレジストリの検討

回数	開催日	主な議題
第7回	2023年12月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東大&amp;AIGIDの研究開発に関する事例紹介</li> <li>○話題提供</li> <li>・インフラ分野のデジタルツインの構築に向けた取り組み(法政大学・今井様)</li> <li>・デジタル道路地図の現状と未来 ~アジャイルな道路デジタルツインをめざして~(DRM 協会・鎌田様)</li> <li>・新たな都市交通調査体系とデータの利活用について(国土交通省・御器谷様)</li> </ul>
第8回	2024年3月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東大&amp;AIGIDの研究開発に関する事例紹介</li> <li>○話題提供</li> <li>・OSMの動向とベースレジストリに対する課題・期待(OSMFJ・飯田様)</li> <li>・森林分野における航空レーザ測量の活用と解析データのオープン化(林野庁・室木様)</li> <li>・登記所備付地図データの一般公開について(法務省・三枝様)</li> <li>・東京都の取組(東京都・山田様・中村様)</li> </ul>
第9回	2024年5月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究会事務局からの報告</li> <li>・研究会の2年間の経過と今後の進め方について</li> <li>・東大&amp;AIGIDの研究開発に関する事例紹介</li> <li>○話題提供</li> <li>・国土交通データプラットフォームにおけるデータ連携(AIGID/パシフィックコンサルタンツ株式会社・榎本様)</li> <li>・国土数値情報の近況&amp;不動産情報ライブラリの公開(国土交通省情報活用推進課/内閣官房地理空間情報活用推進室・米倉様)</li> </ul>
第10回	2024年9月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東大&amp;AIGIDの研究開発に関する事例紹介</li> <li>○話題提供</li> <li>・Drive-by-sensing 技術を用いた都市モニタリング手法について(東京大学・吉村先生)</li> <li>・データベースとそのデータ供給をめぐる国内外の動向(独立行政法人情報処理推進機構・平本様)</li> <li>・GTFSと都市交通から考えるベースレジストリ(株式会社トラフィックブレイン・太田様)</li> </ul>

### 第11期研究会の開催状況

# G空間事業 (2)社会基盤情報の流通・利用促進のための活動

## — 研究会:都市アプリケーション連携実装研究会 —

### ● 主な成果

- デジタルシティサービスの開発・改良 状況等の共有・報告
  - 話題提供
    - 熊本県玉名市の取組
    - 都市計画情報のデジタル化・オープンデータ化の取組
    - 流域治水デジタルテストベッドの取組
    - ProjectPLATEAU の最新動向
    - 「スマートシティ会津若松」の取組とビジョン

回数	開催日	主な議題
第3回	2023年12月18日 (月) 15:00~17:00	○「デジタルシティサービス」の開発・改良状況等報告 ○話題提供 ・熊本県玉名市の取組 (熊本県玉名市)
第4回	2024年3月12日 (火) 13:00~15:00	○「デジタルシティサービス」の開発・改良状況等報告 ○話題提供 ・都市計画情報のデジタル化・オープンデータ化の取組について (国土交通省都市局) ・流域治水デジタルテストベッドの取組みについて (国土技術政策総合研究所)
第5回	2024年6月24日 (月) 15:00~17:00	○「デジタルシティサービス」の開発・改良状況等報告 ○話題提供 ・ProjectPLATEAU の最新動向 (国土交通省都市局) ・「スマートシティ会津若松」の取組とビジョン (福島県会津若松市)

第11期研究会の開催状況

# G空間事業 (2)社会基盤情報の流通・利用促進のための活動

## — 有料セミナー —

### ● 実施内容

- センター認知度アップを目的としたG空間情報センターPR、サービスプロダクトPRの実施
- 購買ユーザ、ファン層を拡大を目指したイベント出展・ミニセミナーの実施及びコンテンツ提供

**【超入門】GIS初めて講座**  
~コラボ with Aero Asahi~

日時： 2024年5月15日(水)、16日(木)  
各日19:00-21:00 (計4時間)

場所： あなたのいる場所(zoomオンライン開催)  
参加： 5,500円 定員： 20名程度

なかなか学ぶ機会がない。これからGISを一から学びたい。  
そんな方の為の、当講座。  
初めて勉強される方に向けたアットホームセミナーです。

GISの歴史や基礎知識、GISを扱う為に必要なソフトウェア“QGIS”のインストールから、基本的な使い方まで、充実のカリキュラムです。

▲ 朝日航洋 × G空間情報センター  
の共同企画で開催します☆

**【超入門】GIS初めて講座**  
~コラボ with Aero Asahi~

日時： 2024年9月2日(月)、3日(火)  
各日19:00-21:00 (計4時間)

場所： あなたのいる場所(zoomオンライン開催)  
参加： 5,500円 定員： 20名程度

なかなか学ぶ機会がない。これからGISを一から学びたい。  
そんな方の為の、当講座。  
初めて勉強される方に向けたアットホームセミナーです。

GISの歴史や基礎知識、GISを扱う為に必要なソフトウェア“QGIS”のインストールから、基本的な使い方まで、充実のカリキュラムです。

▲ 朝日航洋 × G空間情報センター  
の共同企画で開催します☆

【超入門】GIS初めて講座  
令和6年5月15、16日(2日間)  
令和6年9月 2、3日(2日間) 開催

# UDC事業

- UDC2023は、UDC活動10周年として、ウェビナーDay、イベントDayを開催
- UDC2024は「河川・港湾・上下水道」、「生活・文化・地域アーカイブ」を重点テーマに募集

## UDC2023の開催

- ・作品概要:2023年12月23日(土)まで
- ・作品締切:2024年1月27日(土)まで
- ・最終審査会:2024年03月9日(土)



UDC2023:金賞1,銀賞3,銅賞10  
ビジネスプロ部門:最優秀賞1,優秀賞4  
実行委員会特別賞2、学生奨励賞3  
国土交通データチャレンジ特別賞4  
土木学会インフラデータチャレンジ賞3  
GBFS特別賞1、GTFS特別賞3、BODIK賞7  
ベスト地域拠点賞1、地域拠点新人賞1

## UDC2024の開催

- ・UDC2024キックオフ:2024年7月3日(水)



7月3日 アーバンデータチャレンジ2024 (UDC2024) キックオフシンポジウム  
イベントは終了です (水) 13:30 | 東京都目黒区駒場 4-6-1 | By アーバンデータチャレンジ

社会貢献/地域活性 | 社会課題 | まちづくり | 地方創生 | 社会貢献 | 地域活性

アーバンデータチャレンジ2024キックオフシンポジウム  
～第三期を迎え、アカデミックとの連携強化による体系的な人材育成～

「アーバンデータチャレンジ (UDC)」は、2013年度から地域課題解決を目的として地方自治体を中心とする公共データ活用をした年間のイベント開催を伴う一般参加型コンテストです。UDCはデータを活用したデータ活用型コミュニティづくりと一般参加を伴う作品コンテストの2つのパートで構成されています。(UDCの詳細は<http://urbandata-challenge.jp>をご覧ください)  
本年度はUDC 第3期を迎え、アカデミックとの連携強化による体系的な人材育成を進めていきます。地理空間情報の流通や利活用を日本各地で御参加の皆様との議論を深める良い機会となることを期待しております。

チケット  
現地参加  
発表  
オンライン視聴  
発表  
日時  
2024/07/03 (水)